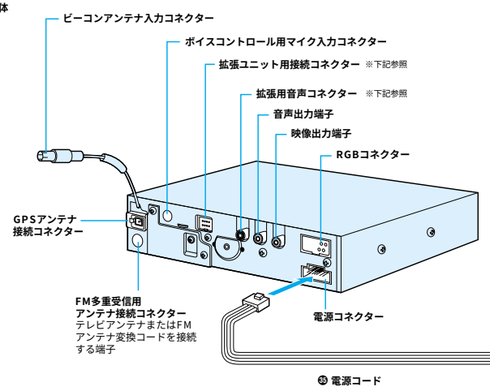
各部の名前とはたらき

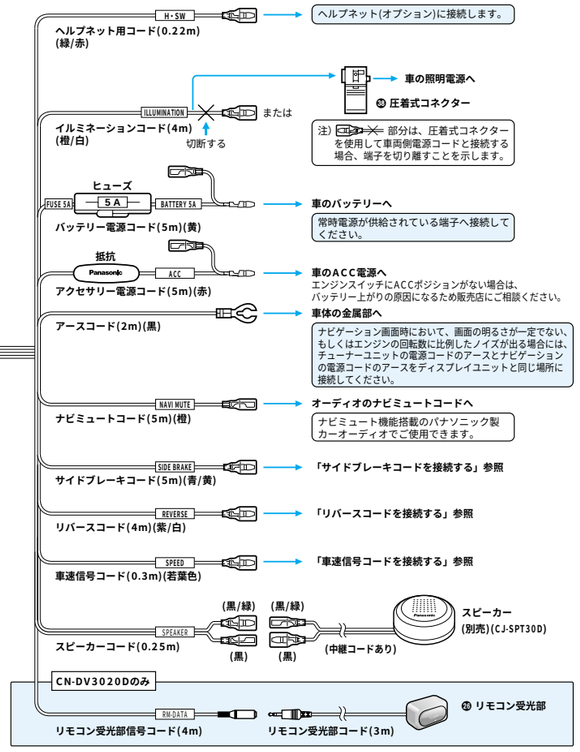
❶ ナビゲーション本体



※ **拡張ユニット用接続コネクター**
- 通信ユニットCY-HCM200Dと接続できます。
（通信ユニットCY-CM100D/CM200Dは接続できません。）
- ETCユニットCY-ET100Dと接続できます。
- 接続については、拡張ユニットの取扱説明書を参照してください。
- 通信ユニットとETCユニットの両方を接続する場合は、マルチメディアハブユニットCY-Z001Dが必要です。

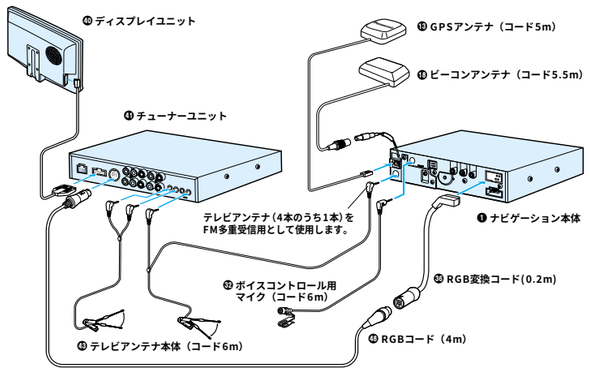
※ **拡張用音声コネクター**
- 将来の拡張用コネクターです。何も接続しないでください。

電源コードを接続する



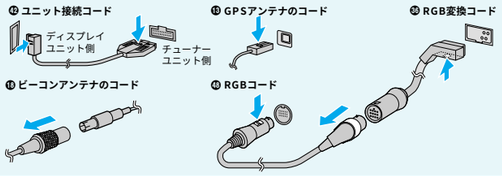
チューナーユニットとナビゲーション本体を接続する

CN-DV3020WDの場合



■ロック付きのコードの取りはずしかた

矢印の方向に押しながら、取りはずしてください。

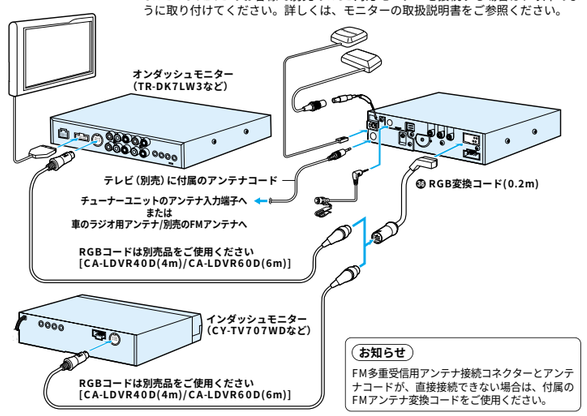


お願い
- **コネクターは確実に差し込んでください。**
- **コードは高熱部をさけ、コードクランパーやテープで固定してください。**
- **次のようなところには取り付けないでください。**
水のかかるところ、足でふまれるところ、およびエアコンの吹き出し口の近くなど温風のあたるところ。
- **ゲーム機器を接続すると、映像が不安定になることがあります。**
- **必ず付属のビーコンアンテナをご使用ください。**
- **ビーコンアンテナ入力コネクターにビーコンアンテナ以外のコードを接続しないでください。**
故障の原因となります。

CN-DV3020Dの場合

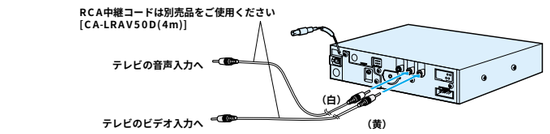
RGB対応モニターに取り付ける場合（CY-TV707WD/TR-DK7LW3など）

CN-DV3020Dのお客様で別売のRGB対応モニターを接続する場合は、以下のように取り付けてください。詳しくは、モニターの取扱説明書をご参照ください。



お知らせ
FM多重受信用アンテナ接続コネクターとアンテナコードが、直接接続できない場合は、付属のFMアンテナ変換コードをご使用ください。

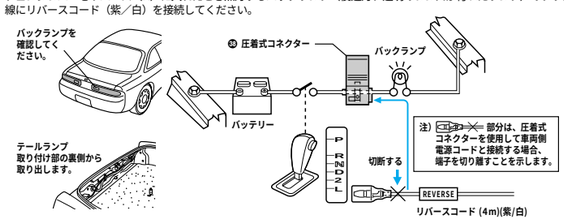
汎用モニターに取り付ける場合（TR-DK7LC6Aなど）



お願い
- **汎用モニターに取り付ける場合は、ナビゲーション本体側で音量調整はできません。**
- **ナビゲーションの音量は、モニターの音量調整で調整してください。**
- **モニターの音量調整をしても十分な音量が得られない場合、別売のスピーカー（CJ-SPT30D）を接続してください。（左記「電源コードを接続する」参照）**

リバースコードを接続する

チェンジレバーをリバース（R）に入れたとき点灯するバックランプ（後退灯、透明のレンズが付いたランプ）のプラス線にリバースコード（紫／白）を接続してください。

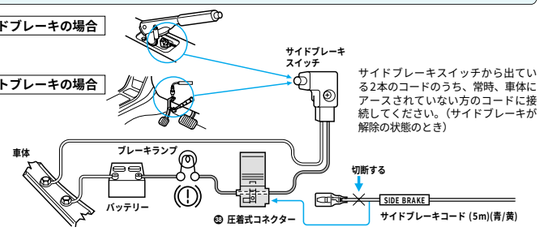


サイドブレーキコードを接続する

お願い
- **サイドブレーキに対する配線は安全と事故防止のため必ず行ってください。**
- **配線には専門の技術と経験が必要です。安全のため配線は販売店または専門の業者にご依頼ください。**
- **サイドブレーキスイッチの位置は車によって異なります。下図はその一例ですが、詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。**

ハンドブレーキの場合

フットブレーキの場合

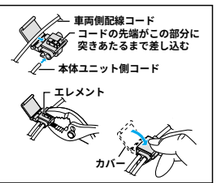


サイドブレーキスイッチから出ている2本のコードのうち、常時、車体にアースされていない方のコードに接続してください。（サイドブレーキが解除の状態のとき）

圧着式コネクターの接続方法

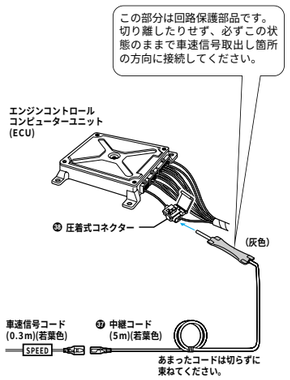
圧着式コネクターを車両側配線コードの適当な位置に取り付けます。接続するコードが細い場合（0.3㎟以下）接触が不十分になりますのでご注意ください。

1. ナビゲーション本体側コードの先端をコネクターの穴に通します。
2. コードがコネクターから抜けないよう注意しながらペンチ等でエレメントを押し込みます。
3. パチンと音がするまで完全にカバーをかぶせます。



車速信号コードを接続する

エンジンコントロールコンピューターユニットなどに来ている車速信号の配線に車速信号コード（若葉色）を接続してください。

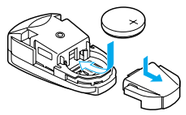


お願い
- 車速信号取り出し箇所は、車種・年式・エンジン型式によって異なりますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- 必ず、付属の中継コードをご使用ください。

ボイスコントロール用リモコンを取り付ける

電池の入れかた

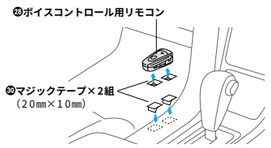
使用電池：リチウム電池（CR2032）
電池寿命：通常の使用状態で約10ヵ月間



お願い
- 電池の⊕⊖表示をよく確かめて入れてください。
- リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り出してください。
- 乳幼児の手の届くところに電池を置かないでください。
万一飲み込んだ場合は、すぐに医師にご相談ください。

マジックテープを使って取り付ける場合

運転の妨げにならない場所に取り付けてください。



お願い
- 設置する前に、その位置からの信号を受信することができるかご確認のうえ、設置してください。
- モニター（リモコン受光部）の取り付け位置とボイスコントロール用リモコンを設置する角度や位置によっては、本機が信号を受信できないことがあります。
その場合は、本体リモコンで操作してください。
- 直射日光のあたるダッシュボードの上などには、取り付けないでください。高温により変形することがあります。
- マジックテープは、リモコン裏面に2カ所、電池のふたが開閉できる位置に貼り付けてください。

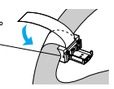
ハンドルに取り付ける場合

ご注意
- **実際に運転する前に必ず、お客様のハンドル操作の妨げにならない事を確認してご使用ください。**
ハンドル操作の妨げになる場合は、交通事故の原因になりますので、妨げにならない場所へ取り付けてください。（「マジックテープを使って取り付ける場合」を参照してください。）
- **車の計器類の視野を妨げない場所に取り付けてください。**
- **エアバッグなど車の安全装置を妨げない場所に取り付けてください。**
- **付属のベルトでハンドルの内側にしっかりと固定してください。**
外側に取り付けたり、しっかりと固定していない場合は運転動作の妨げになり、交通事故の原因になります。
- **危険防止のため、ハンドル操作中にリモコン操作は行わないでください。**
運転動作の妨げになり、交通事故の原因になります。
- 下の例は右ハンドル車の場合です。リモコンの信号をリモコン受光部に確実に送信するため、左ハンドル車に取り付ける場合はハンドルの右側に取り付けてください。
（右図参照）

■ハンドルへの取り付けかた

1 ベルトでハンドルにしっかりと台座を固定します。

台座がハンドルの内側になるように固定してください。



2 リモコン本体を取り付けます。

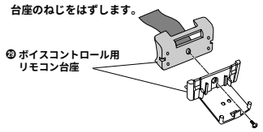
お願い
- 設置する前に、その位置からの信号を受信することができるかご確認のうえ、設置してください。
- モニター（リモコン受光部）の取り付け位置とボイスコントロール用リモコンを設置する角度や位置によっては、本機が信号を受信できないことがあります。
その場合は、本体リモコンで操作してください。

ボイスコントロール用リモコンの使用範囲について

リモコンは、前後両方向に信号を発信しており、後方向の信号は、運転者などに反射して、モニターのリモコン受光部で受信されます。（下図参照）

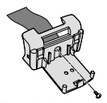
■取り付ける角度の調整

1 台座のねじをはずします。



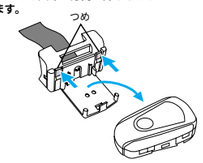
2 ハンドルに合わせて台座の角度を調整します。（3段階）

3 ねじをしめて固定します。



■リモコンを台座から取りはずす場合

台座のつめを二つとも矢印の方向に押しながら、リモコンを取りはずします。



取り付け後の確認

メニュー画面 情報 から
システム状態を見る →
取り付けを確認する を選ぶ

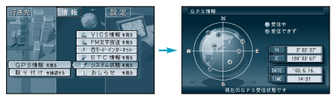
ジョイスティックを左右に動かし、画面を切り替える

お知らせ
FMアンテナおよびビーコンアンテナの取り付けチェック画面はありません。実際に走行して、受信できるかどうか確認してください。

GPSアンテナ	常にON表示になっている。
スモールランプ	車のライトスイッチをONにする。［スモールランプ］表示がOFFからONに変わる。
サイドブレーキ	サイドブレーキを引く。［サイドブレーキ］表示がOFFからONに変わる。
リバース	車を停止させた状態で、チェンジレバーをリバース（R）レンジに入れる。［リバース］表示がOFFからONに変わる。
車速パルス	安全な場所で車を走らせ、次に停車したとき、［車速パルス］の数字が変化している。（［パルスリセット］にカーソルを合わせ<実行>ボタンを押すと、パルス数が0にリセットされます。）
ACC電圧	11V～16Vの範囲にある。
学習レベル	距離補正の精度を表します。レベル3が最も誤差の少ない状態です。［レベルリセット］にカーソルを合わせ、実行ボタンを押しレベルをリセットしてください。 詳しくは、取扱説明書「カーナビゲーション操作編」の18ページを参照してください。

お願い
画面の表示内容がOFFのまま、車速パルスの場合は数字が変化しないとき、ACC電圧が範囲外のときは、もう一度、配線を確認してください。

■GPSアンテナの取り付け場所、受信状態の確認（見通しの良い場所で確認してください。）



メニュー画面 情報 から
システム状態を見る →
GPS情報を見る を選ぶ

GPS天空図が表示される

お願い
- 3つ以上の衛星番号が受信中になっているのを確認してください。1つも受信中になっていない場合は、GPSアンテナの配線および取り付け状態を確認してください。

■FMトランスミッター機能の確認
① カーラジオの電源を入れ、
② FMに切り替えて受信周波数を76.0MHzに合わせ、
③ テレビの音声がカーラジオのスピーカーから聞こえるかご確認ください。
詳しい操作方法は取扱説明書「テレビ操作編」をご参照ください。

■ボイスコントロール機能の確認
実際にマイクに向かって発声し、ボイスコントロール機能が作動するかご確認ください。
詳しい操作方法は取扱説明書「ボイスコントロール操作編」をご参照ください。

■画面位置の調整
画面の位置が気になる場合は、画面位置を調整してください。
詳しくは、取扱説明書「カーナビゲーション操作編」をご参照ください。